

栃の木からの手紙

2019年 5月号



4月上旬雪融け後、ヒバリが鳴かない事が気に成っていた。ヒバリは本来は留鳥ですが、寒い地方では冬場に暖かい地方に移動して暖かくなってから戻ってくる夏鳥。例年では、雪融け頃にやって来る。そして、空高くの一点から降ってくる様な甲高い囀り、ヒバリの高鳴き。自分の生活域を守る為の行動。一般の芋の畑を作り始めた4月16日夕方、作業中のトラクターの前方でちょろちょろする鳥。ヒバリである。居る事は居るんだ。でも、鳴けない。一般の芋の播種が23日に終わり、ビートの移植が28日から始まり5月6日で終わる。例年より早い進み具合です。

5日： 新月 旧 4月 1日

6日： 立夏

18日： アスパラハウス地中探検 夕方18時から
金子みすずの世界を感じよう

19日： 満月 旧 4月 15日

21日： 小満

5月に入り2日、寒気の流入で昼から時雨模様で作業中止。3日憲法記念日、朝から一時の晴天。作業準備を進めていると、天から歓喜の高鳴きが降って来た。漸くヒバリが囀りました。

5月 皐月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



天候を計る尺度として自然界に目を向ける。ヒバリが鳴いたり、タンポポが咲いたり、藻琴山の雪融



ヒバリの 高鳴き初日 年回数 統計						
高鳴き初日	年数					
3月31日	2				2011年	2018年
4月3日	1				2007年	
4月4日	2				2009年	2013年
4月5日	1				2015年	
4月6日	4				1999年	2005年 2008年 2016年
4月7日	2				2002年	2004年
4月9日	1				2017年	
4月10日	2				2006年	2010年
4月11日	1				2012年	
4月13日	1				2000年	
5月3日	1				2019年	

け模様の倒れた人文字が現れたりする時期を、私たちが変えたりする事は出来ない。一方、農作業の日取りを調整する事は出来る。

ヒバリの高鳴きが極端に遅れたのは、鳴くに鳴けない理由があり、これが怖い。一般の芋・ビートの播種作業が終わる頃、タンポポが綺麗に咲いていないのは播種作業が早すぎる。藻琴山の倒れた人文字が現れたのは、播種作業の終わりを迎え、人も疲れていますよというサイン。